令和３年６月２日

感染拡大特別警報発令中！
新型コロナウイルス感染症

富山県感染症情報センター
(0766-56-5431　直通)
(0766-56-8142　細菌部)
(0766-56-8143　ウイルス部)

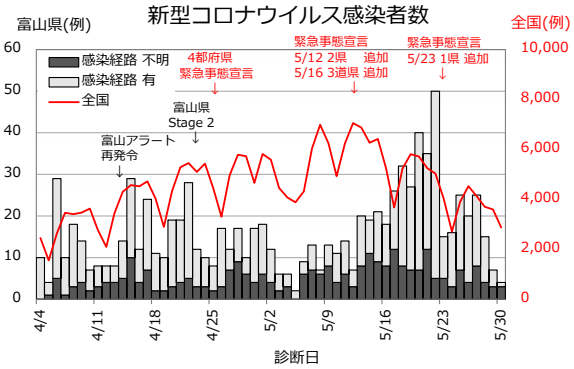
感染症発生動向速報

（令和３年第21週分・５月24日～５月30日）

《 インフォメーション 》

●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、５月30日時点で744,487例となり、12,967例の死亡が確認されています。全国の新規感染者数（図；折れ線グラフ）は減少傾向ですが、医療提供体制のひっ迫は続いています。このため、５月31日期限で発令されていた緊急事態宣言は延長され、沖縄県も含めた10都道府県を対象とした緊急事態宣言の実施期間は６月20日までとなりました。また、まん延防止等重点措置は、隣県の石川、岐阜を含む８県で実施されています。



県内の今週の新規感染者数は113例で、５月30日時点の累積感染者数は1,870例になりました（図；棒グラフ）。感染者数及び入院者数の増加が継続していることから、医療提供体制のひっ迫などを避けるため、県内には感染拡大特別警報が発令されています。会話時のマスク着用、県境を跨いだ移動の自粛、職場での感染防止対策に加え、イベントの開催を慎重に検討することなどが求められています。

県内におけるN501Y変異検出のPCR検査の累積陽性件数は553件となり（５月30日時点）、現在は新規陽性者のほぼ全てがN501Y変異ウイルスです。また、そのうちゲノム解析を行った症例は全て、感染性が従来株より高いとされる英国由来変異株（VOC1）でした。変異株に対しても感染拡大を防ぐための手指消毒やマスク着用、十分な換気、対人距離を保つといった一人一人が取り組むべき感染対策は同じです。これ以上の感染拡大を防ぐため、高い緊張感を持って行動していただくことが重要です。

発熱等の症状で医療機関を受診する際には、電話相談のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691；24時間対応)にご連絡ください。

《 全数報告の感染症 》

新型インフルエンザ等感染症　新型コロナウイルス感染症　１１３件
二類感染症　結核　２件（①20歳代、男性　②70歳代、女性）
五類感染症　ウイルス性肝炎　１件（40歳代、男性、Ｂ型）
侵襲性インフルエンザ菌感染症　１件（90歳代、女性）
侵襲性肺炎球菌感染症　２件（①10歳未満、男性　②40歳代、女性）
梅毒　１件（第20週診断分：40歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期）

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位６疾患

順位	疾病名	定点あたりの数 今週（増減）	定点あたりの数 先週
１位	ＲＳウイルス感染症	7.10（↑）	4.79
２位	感染性胃腸炎	4.24（↑）	3.48
３位	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.93（↑）	0.83
４位	突発性発しん	0.45（↑）	0.34
５位	咽頭結膜熱	0.28（↑）	0.14
６位	伝染性紅斑	0.14（↑）	0.00

RSウイルス感染症が例年より増えています！
3歳未満の幼児に多く、症状は発熱、鼻汁。2～3割は気管支炎、肺炎に進展。生後６ヵ月以内、または基礎疾患があると重症化しやすく、注意が必要です。

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス https://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/

○感染症発生動向調査報告状況（令和３年第２１週　令和３年５月２４日～令和３年５月３０日）

分類	疾患	今週報告分（第２１週）							累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	27	2	38	7	39		113	90	118	340	59	651	32	1,290
二類感染症	結核			2				2	7	3	17	7	15		49
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症										2		1		3
四類感染症	Ｅ型肝炎								1				1		2
	つつが虫病								1						1
	レジオネラ症									1	2		1		4
五類感染症	ウイルス性肝炎	1						1	2						2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										1	1	1		3
	急性脳炎										1				1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										1		1		2
	後天性免疫不全症候群								1				1		2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					1		1			1	1	1		3
	侵襲性肺炎球菌感染症					2		2	1		1		10		12
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒									1	2		12		15
	播種性クリプトコックス症												1		1
	破傷風										1				1
定点疾病 （下段は定点当たりの患者数を示す）	インフルエンザ										5				5
	ＲＳウイルス感染症	3	21	114	5	63		206	81	86	377	19	612		1,175
		0.75	7.00	14.25	1.25	6.30		7.10							
	咽頭結膜熱		1	2		5		8	18	27	91	1	64		201
			0.33	0.25		0.50		0.28							
	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	2	11	4	9		27	50	29	404	72	161		716
		0.25	0.67	1.38	1.00	0.90		0.93							
	感染性胃腸炎	28	7	17	5	66		123	396	193	271	80	592		1,532
		7.00	2.33	2.13	1.25	6.60		4.24							
	水痘					1		1	1	6	14	4	22		47
						0.10		0.03							
	手足口病			1		1		2	2		9	1	4		16
				0.13		0.10		0.07							
	伝染性紅斑					4		4		1	5	1	12		19
						0.40		0.14							
	突発性発しん	3		5	1	4		13	28	16	76	33	63		216
		0.75		0.63	0.25	0.40		0.45							
	ヘルパンギーナ								16						16
	流行性耳下腺炎			1	1	1		3	2	2	5	3	3		15
				0.13	0.25	0.10		0.10							
	流行性角結膜炎									1					1
	細菌性髄膜炎												1		1
	無菌性髄膜炎												1		1
	マイコプラズマ肺炎									1	7	1			9
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）								1						1
	インフルエンザによる入院患者（※2）										1	8			9

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。　※1 その他は県外、居住地非公表分です。　※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週(8月31日)～の集計です